

東京国立博物館 ニュース

2017 **4-5**

展示と催し物案内
第742号

2 ● 特別展「茶の湯」／3 ● 2017年度おもな特別展／4 ● 「博物館でお花見を」
5 ● 親子のギャラリー「トーハクでバードウォッチングーキジヤクジャク、鳳凰が勢ぞろいー」
5 ● 2017年度 総合文化展／6-11 ● 総合文化展／11 ● 保存と修理情報④
12-13 ● みどりのライオン 教育普及事業／13 ● トーハクくんのなるほトーハク
14-15 ● イベント&インフォメーション／16 ● 2017年4月・5月の展示・催し物



発表！2017年度

特別展&総合文化展

奇跡の釉色

国宝 曜変天目 稲葉天目

焼成の際に生じる釉の化学変化によって、このような虹色に光る斑文が偶発的に現れると考えられています。これほどまでに文様が力強く輝いているのはこの稲葉天目だけ。まさに奇跡の作品といえるでしょう。



●曜変天目 稲葉天目
中国・建窯 南宋時代・12～13世紀
東京・静嘉堂文庫美術館蔵 展示期間：4月11日（火）～5月7日（日）

奇跡の伝来

重要文化財 青磁輪花茶碗 銘 馬蝗絆

足利義政の手にあった時、ヒビが入ってしまったため、中国（明）に替わるものを求めたところ、「もはやこれほど美しい青磁を作ることはできない」と、鑑をうって返されたと伝わります。その後も歴史に埋もれることなく現代まで大切に伝えられた、奇跡の茶碗です。



●青磁輪花茶碗 銘 馬蝗絆
中国・龍泉窯 南宋時代・12～13世紀
東京国立博物館蔵

奇跡の名品、奇跡の集結

茶の湯 特別展

平成館
特別展示室

4月11日（火）～6月4日（日）

「茶の湯」展の関連展示もチェック！→6ページ

室町時代から近代まで、各時代を象徴する作品で茶の湯の歴史をたどる本展は、茶の湯ファンならずとも必見の名品が勢ぞろい。これだけの名品が揃うこと自体が奇跡！ その一部をご紹介します。

奇跡の展示

唐物肩衝茶入 銘 遅桜

天下の名肩衝「初花」に負けない名品という意で、足利義政が「金葉和歌集」の「夏山の青葉まじりの遅桜」の歌にちなんで「遅桜」と名付けたと伝わります。「初花」とともに東山御物として珍重され、のちに徳川家康が所持しました。縁の深い「初花」と「遅桜」、両方が出品される奇跡の機会です。



唐物肩衝茶入 銘 遅桜
中国 南宋～元時代・13～14世紀
東京・三井記念美術館蔵
展示期間：4月25日（火）～6月4日（日）



●唐物肩衝茶入 銘 初花
中国 南宋～元時代・13～14世紀
徳川記念財団蔵
展示期間：4月11日（火）～4月23日（日）

関連イベント

記念講演会 当日先着順

①「桃山の茶陶—和物茶碗」

日時：4月15日（土）
13:30～15:00（13:00開場予定）
講師：伊藤嘉章（九州国立博物館副館長）

②「茶の湯の魅力

—日本、朝鮮、中国のやきものをを中心に—

日時：5月13日（土）
13:30～15:00（13:00開場予定）
講師：三笠景子（当館東洋室主任研究員）
会場：平成館大講堂／定員：380名（先着順）
聴講無料（ただし、当日の入館料が必要）

*事前申込み不要。当日11:30より、大講堂前にて指定席券を配布。
*講演会開始時に空席があった場合はキャンセル扱いとし、他のお客様をご案内する場合があります。

呈茶席 当日受付

各流派による呈茶席をご用意しています。

4月18日（火） 表千家不審庵（担当：表千家同門会東京支部）
4月20日（木） 武者小路千家官休庵（担当：東京官休会）
4月21日（金） 藪内燕庵（担当：古儀茶道藪内流竹風会東京支部）
4月22日（土） 江戸千家宗家蓮華庵
4月23日（日） 東京藝術大学（担当：東京藝術大学裏千家茶道部）
4月25日（火） 大日本茶道学会（担当：大日本茶道学会本部教場）
4月27日（木） 江戸千家
4月28日（金） 遠州茶道宗家
4月29日（土・祝） 茶道宗偏流不審庵（担当：茶道宗偏流不審庵関東地区）
4月30日（日） 裏千家今日庵（担当：茶道裏千家淡交会関東第一地区）
各日11:00～15:00頃（売切れ次第終了）
料金：茶券500円（菓子付き）*ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可。
会場：平成館ラウンジ

*当日9:30より会場にて茶券販売開始。お一人様1枚のみ。

茶室「燕庵」を完全再現！

重要文化財「燕庵」は、京都・数内家の初代・紹智が古田織部から譲り受けたと伝わる茶室です。窓を多数設けるなど、織部好みが見えられ、

相伴席をつけたゆりのある空間が特徴的です。会場内では、この「燕庵」を再現した茶室（岐阜県現代陶芸美術館所有）を設置。茶湯道具だけではなく、それらが使われた茶室にもご注目いただき、茶の湯の世界を一層深くお楽しみください。



茶室「燕庵」は公益財団法人数内燕庵所有
撮影：田畑みなお

開催概要 | 主催：東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、毎日新聞社／特別協力：表千家不審庵、裏千家今日庵、武者小路千家官休庵、藪内燕庵、遠州茶道宗家、江戸千家宗家蓮華庵、江戸千家、大日本茶道学会、茶道宗偏流不審庵／協賛：伊藤園、トヨタ自動車、日本写真印刷、三井住友海上火災保険、三井物産／展示協力：大光電機／観覧料：一般1,600円（1,400円/1,300円）、大学生1,200円（1,000円/900円）、高校生900円（700円/600円）*（ ）内は前売/20名以上の団体料金。

中学生以下無料*障がい者とその介護者1名は無料（入館の際に障がい者手帳などをご提示ください）*前売券は12月5日（月）～2017年4月10日（月）、東京国立博物館正門チケット売場（窓口、開館日のみ）、展覧会公式サイト、主要プレイガイドほかにて販売／お問合せ：ハローダイヤル03-5777-8600／展覧会公式サイト：http://chanoyu2017.jp/



日タイ修好130周年記念特別展

「タイ ～仏の国の輝き～」

7月4日(火)～8月27日(日)

平成館

現在のタイの国土には、タイ族の国が興る以前にドヴァーラヴァティーやシュリーヴィジャヤといった仏教を篤く信仰する国々がありました。そしてタイ族の最初の国であるスコタイ朝から現在のラタナコーシン朝まで、スリランカから伝わった上座仏教を信仰してきました。タイでは仏教は日々の暮らしに寄り添う大きな存在であり、長い歴史のなかで多様な仏教文化が花開きました。

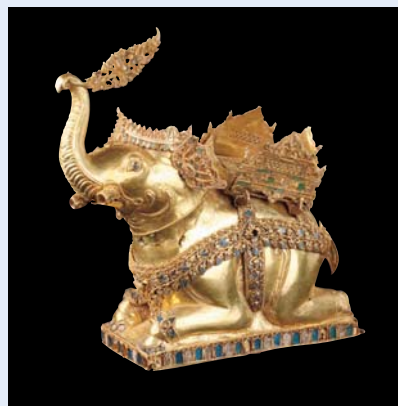
本展では仏教国タイについて、タイ族前史の古代国家、13世紀に開かれたタイ国黎明期のスコタイ朝、14世紀に興った国際交易国家アユタヤー朝、そして18世紀から現在まで続くラタナコーシン朝の仏教美術の名品をとりあげて、同国の歴史と文化を紹介します。

【開催概要】主催：東京国立博物館、タイ王国文化省芸術局、日本経済新聞社、BSジャパン／共催：国際交流基金アジアセンター／協賛：NEC、花王、スターツグループ、ダイキン工業、大日本印刷、東レ、トヨタ自動車、三菱商事／協力：日本貨物航空／後援：タイ王国大使館、タイ国政府観光庁／観覧料：一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)＊()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 ＊障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) ＊前売券は4月8日(土)～7月3日(月)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会情報サイト、主要ブレイガイドほかにて販売／お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600／展覧会情報サイト：<http://www.nikkei-events.jp/art/thailand/>



ぶつ だ ぼだいざう
仏陀遊行像

スコタイ時代・14～15世紀
サワンウォーラーノック国立博物館蔵
しなやかに歩みを進める遊行像はタイ美術の代表作です



きんぞう
金象

アユタヤー時代・15世紀初
チャオサームプラヤー国立博物館蔵
冠を被って鞍を背負った金色の象。象は国王の象徴でした



きんぱんそうこうえがたな
金板装拵刀

ラタナコーシン時代・19世紀
バンコク国立博物館蔵
ラーマ3世王時代の上級貴族の刀。日本刀を模してタイで作られました

「フランス人間国宝展」

9月12日(火)～11月26日(日)

表慶館

日本の人間国宝制度にならい伝統工芸の保存・伝承・革新のため創設されたフランス人間国宝。15分野各1名の作家を紹介する世界初の展覧会です。

イシス(傘)

ミシェル・ウルト作 2013年 個人蔵

© Greg GONZALEZ



特別展「仁和寺と御室派のみほとけ(仮称)」

2018年1月16日(火)～3月11日(日)

平成館

「古都京都の文化財」として世界遺産に登録されている真言宗御室派総本山、仁和寺の寺宝のほか、御室派寺院が所蔵する名宝の数々を展覧します。

●阿弥陀如来坐像

平安時代・仁和4年(888)
京都・仁和寺蔵



興福寺中金堂再建記念特別展

「運慶」

9月26日(火)～11月26日(日)

平成館

日本で最も著名な仏師・運慶。その卓越した造形力で、生きているかのような写実性に富んだ仏像を生み出し、輝かしい彫刻の時代をリードしました。本展は、運慶とゆかりの深い興福寺をはじめ各地から名品を集めて、その生涯の事績を通覧する展覧会です。さらに運慶の父・康慶、実子・湛慶、康弁親子3代の作品を揃え、運慶の作風の成立から次代の継承までをたどります。



●大日如来坐像

運慶作
平安時代・安元2年(1176)
奈良・円成寺蔵
写真：飛鳥園

●無著菩薩立像

運慶作
鎌倉時代・建暦2年(1212)頃
奈良・興福寺蔵
写真：飛鳥園



トーハクならではの桜を楽しみ尽くそう！

博物館でお花見を

3月14日(火)～4月9日(日)

ぜーんぶ
楽しむほ！



東京国立博物館公式キャラクター
トーハクくん

「博物館でお花見を」は、トーハクの春を満喫できる恒例企画。
桜にちなんだ名品や庭園に咲く桜、
そして盛りだくさんの桜イベントがあなたをお迎えします。



3月27日(月)、
4月3日(月)は
開館します

東京国立博物館公式キャラクター
ユリノキちゃん

鑑賞する！

本館 桜めぐり

本館では、桜をモチーフにした作品が花ざかりです。桜の作品を探しながら展示室をめぐるスタンプラリーも開催します。5つのスタンプを全部集めたら、オリジナル缶バッジをプレゼント！

◆ 桜スタンプラリー

「博物館でお花見を」期間中、毎日実施。

台紙の配布・バッジの引換え場所：本館エントランス（引換えは10:00～閉館まで）



げん じもの かり すひょう ぶ わかな しょう
源氏物語図屏風(若菜上)

本館7室 伝土佐光則筆 江戸時代・17世紀 個人蔵

さんぽする！

春の庭園開放

3月14日(火)～5月7日(日) 10:00～16:00



*ライトアップ実施日は19:30まで。

*悪天候により中止になる場合があります。

特別展「茶の湯」の開幕に合わせて、4月11日(火)～5月7日(日)は
転合庵の内部をご覧いただけます(中には入れません)。

*4月15日(土)を除く。

◆ 庭園ライトアップ

3月31日(金)、4月1日(土)・7日(金)・8日(土)

◆ さくらカフェ

3月14日(火)～5月7日(日) 10:00～16:00

*3月31日(金)、4月1日(土)・7日(金)・8日(土)は18:00まで。

*ラストオーダーは閉店の15分前。

*悪天候により中止の場合があります。



体験する！

桜イベント

*特記以外はすべて参加無料(ただし、当日の入館料が必要)、事前申込み不要です。

◆ 桜ギャラリートーク

「屏風に咲く桜」

日時：3月29日(水) 14:00～14:30

講師：小野真由美(貸与特別観覧室主任研究員)

会場：本館7室 *8室から変更になりました。

「器に咲く桜」

日時：4月7日(金) 18:30～19:00

講師：横山 梓(保存修復室研究員)

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

◆ 鑑賞ガイド

桜にちなんだ作品の見どころを
ダイジェストでご紹介します。

日時：3月31日(金)

18:30～19:00

講師：小林 牧
(博物館教育課長)

日時：4月5日(水)

14:00～14:30

講師：神辺知加
(教育講座室主任研究員)

会場：いずれも本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)



◆ 桜セミナー

「桜の絵にみる美と心」

桜は日本を表すアイコンと呼ぶべきモチーフのひとつです。
桜が描かれた日本絵画を通じて桜が日本人に愛された理由
を考えます。

日時：4月8日(土) 13:30～15:00(13:00開場予定)

講師：山下善也(絵画・彫刻室主任研究員)

会場：平成館大講堂 定員：380名(先着順)

◆ ボランティアによるガイドツアー

桜にちなんだ作品や構内の見頃の桜など、さまざまなテーマで「トーハクの桜」をご案内します。

*日時・テーマは本誌16ページまたは当館ウェブサイトでご確認ください。

◆ 東博句会「花見で一句」

桜咲く庭園や桜をモチーフ
にした作品をテーマに一句
詠んでみませんか？ 構内
の投句ポストで俳句を募集
します。「博物館でお花見
を」期間中、毎日受付。

*入選作品は本誌8・9月号、
当館ウェブサイトにて発表、記
念品を贈呈します。



投句ポストは本館エントランス、
本館ラウンジ、平成館エントランス、
応挙館にあります

◆ 桜ワークショップ「春らんまん 桜ぬりえ」

本館で展示中の桜をモチーフにした作品のぬり絵です。思い
思いに色をつけ、自分だけの春ら
しい作品をつくりましょう。

日時：3月23日(木)～26日(日)
各日 11:00～16:00

*ぬり絵シートがなくなり次第終了
会場：本館2階ラウンジ



◆ 桜の街の音楽会

「東京・春・音楽祭」参加アー
ティストによる無料のミニコ
ンサートです。

チェロ・ソロ(林はるか)

日時：3月31日(金)

13:00～13:20

会場：本館大階段

ヴァイオリンとヴィオラのデュオ

(ヴァイオリン：佐藤恵梨奈 ヴィオラ：樹神有紀)

日時：4月3日(月) 13:00～13:20

会場：法隆寺宝物館エントランス

主催・お問合せ 東京・春・音楽祭実行委員会
(TEL:03-5205-6497)

ウェブサイト <http://www.tokyo-harusai.com/>





中国では、鳳凰は桐の木に宿る
という言い伝えがあり、鳳凰は
よく桐の木とセットで表されます



ゆうぜんぞめかけふく きりほうおう ず
友禅染掛幅 桐鳳凰図
江戸時代・19世紀



ずんぐりとした体型とがっしり
とした足はキジ科の特徴です



いろ え きしおきもの
色絵雑置物
五代清水六兵衛作
昭和時代・20世紀
第二復員局寄贈



からおり こうはくたん ぼたんわがまつく じやくほね よう
唐織 紅白段牡丹若松孔雀羽模様
上杉家伝来 江戸時代・18世紀



クジャクの飾りばねが図案化されて表
されています。羽の模様はかわいら
しいハート型になっています



関連イベント

- 「親と子のギャラリー「トーハクでバードウォッチング」の見方と特集展示
ができるまで」→12ページ
- 「上野の山でキジめぐり」→13ページ



キジ、ライチョウ、ウズラ、セイラン、ニワトリ、クジャクなど、さまざまなキジ科の鳥をモチーフとした絵画や工芸品が勢ぞろい。インドの仏さまを乗せたクジャクや、明治時代に日本から海を渡ってシカゴ万国博覧会に出品されたクジャク、今から1400年以上前の古墳から出土した剣の柄に表された鳳凰、中国の大皿に描かれた天空に舞う鳳凰など、トーハクで見られる

（勝木言一郎 神辺知加）
ない鳥たちばかりです。以前本館に飾られていたと思われる鳳凰の形をした大きな瓦をさわって感触を楽しんだり、上野動物園で飼育されているキジ科の鳥たちの鳴き声を聞いたりすることもできます。ぜひお子さんといっしょに不思議なバードウォッチングを体験してみてください。



親と子の
ギャラリー

トーハクで バードウォッチング



平成館
企画展示室
4月25日(火)
～
6月4日(日)



2017年度

総合文化展



国宝室（本館2室）

～5月7日①

●金光明最勝王經
金字宝塔曼荼羅図

平安時代・12世紀
岩手・大長壽院蔵
＊写真は第一巻



8月1日(火)～
8月27日①

●延喜式 巻四
紙背文書

平安時代・11世紀



11月21日(火)～
12月25日①

●元暦校本万葉集
巻七・十九
(古河本)

平安時代・11世紀



5月9日(火)～
6月4日①

●法華経 巻第一
(浅草寺経)

平安時代・11世紀
東京・浅草寺蔵



8月29日(火)～
9月24日①

●一遍聖絵 巻第七

法眼円伊筆
鎌倉時代・正安元年
(1299)



2018年
1月2日(火)～
1月28日①

●釈迦金棺出現図

平安時代・11世紀
京都国立博物館蔵



6月6日(火)～
7月2日①

●充内供奉治部省牒
(円珍関係文書の内)

平安時代・嘉祥3年(850)



9月26日(火)～
10月22日①

●法華経一品経
妙莊嚴王本事品
(慈光寺経)

鎌倉時代・13世紀 埼玉・慈光寺蔵



2018年
1月30日(火)～
3月11日①

●賢愚経(大聖武)

伝聖武天皇筆
奈良時代・8世紀



7月4日(火)～
7月30日①

●華嚴宗祖師絵伝
元曉絵 巻中

鎌倉時代・13世紀
京都・高山寺蔵



10月24日(火)～
11月19日①

●十六羅漢像
(第八尊者・第十二尊者)

平安時代・11世紀
＊写真は第八尊者



2018年
3月13日(火)～
4月8日①

●花下遊楽図屏風

狩野長信筆
江戸時代・17世紀



注目の企画

親と子のギャラリー
びょうぶとあそぶ
7月4日(火)～9月3日①

博物館でアジアの旅
9月5日(火)～10月15日①

博物館に初もうで
2018年
1月2日(火)～1月28日①

博物館でお花見を
2018年
3月13日(火)～4月8日①

今年の国宝室は
私の大好きな
書が多いわね!

トーハクへ来
たら本館2室は
見逃したらダメ
だほ。



注目の特集



今年は「対症修理」に注目です

特集「東京国立博物館

コレクションの保存と修理」

3月22日(水)～4月16日(日)

●平成館 企画展示室

本特集は、当館が手がける保存と修理の成果をより分かりやすく紹介するため、近年修理したさまざまな分野の作品を修理工程や修理過程で得られた情報とともに展示する恒例企画です。今年は、本格的な解体修理が完了した作品の他に、「対症修理」を行った作品も紹介します。

「対症修理」とは、損傷の症状にあわせて行う最小限の処置のこと。今回は、年間700件にもわたる「対症修理」を行った作品から、修理技術者が選んだオススメを解説とともに展示します。軸木のなかに埋められた鉛製の錘が化学変化によって膨張し始めていた掛軸や、表面に虫喰いの穴が無数にあいていた神像など、「対症修理」によって損傷を予防したり、鑑賞性を高めることができた修理例をご覧ください。

会期中、4回のギャラリートークを行います(3月開催分は本誌前号12ページ、4月開催分は本誌12ページ参照)。実際に文化財を修理している若き技術者たちが臨場感あふれる話を展開する回もありますので、ぜひこの機会にご来場ください。

(瀬谷愛)

◎放情図

平林処林賛
中国 元時代・14世紀
濃く墨染めされた肌裏紙を除去したことにより、細かな水墨表現が見えるようになりました



◎享保雛

江戸時代・18～19世紀
江戸由三郎氏寄贈
とある事情により烏帽子を被れずにいたお内裏様。対症修理により解決したのですが、さてその事情とは…? 展示室の解説でお答えしています

「茶の湯」展をさらに楽しむ関連展示

特集「懐石のうつわ」

4月18日(火)～5月21日(日)

●本館14室

◎黄瀬戸筒向付

美濃
安土桃山～江戸時代
16～17世紀
広田松繁氏寄贈
碗の向こう側に置かれることから、向付と呼ばれます



◎古染付御所車図六角手付鉢

中国・景德鎮窯 明時代・17世紀 広田松繁氏寄贈
御所車や装束に違和感? 日本からの注文品は、中国で主題を理解しないままに描かれ、何ともユニークです

懐石とは、茶事と呼ばれるお茶抹茶をふるまう会において、亭主が客人に提供する料理のことです。懐石の形式は、もとは「一汁三菜」という質素なものでしたが、時代を経て料理の数を増やし、今日では配膳に応じて碗、向付、鉢、皿、徳利、酒盃といった多種のうつわが登場します。趣向をこらしたうつわ選びも、もてなしには欠かせない要素となります。懐石のうつわには主に漆器や陶磁器が使われますが、今回の展示では、江戸時代中期に調えられた5代中村宗哲による漆の懐石具一式と、長く茶の湯で愛玩されてきた陶磁器のうつわを紹介します。

なかでも、黄瀬戸、志野、織部といった美濃のやきものや、唐津のうつわ、祥瑞、古染付など中国に注文したうつわは、茶の湯が盛んに展開された安土桃山時代から江戸時代初期にかけて数多く作られ、茶の湯と深い関わりのあるものです。ぜひ、特別展「茶の湯」(本誌2ページ)とあわせてお楽しみください。

(横山梓)

江戸幕府と江戸庶民を支えた寺院

特集「幕府祈願所

霊雲寺の名宝」

4月25日(火)～6月4日(日)

●本館 特別2室

東京都文京区湯島に立つ霊雲寺は、元禄4年(1691)5代將軍徳川綱吉と側用人柳沢吉保の帰依を受けた寛政浄蔵(1639～1702)を開基とし、国家の安泰を祈る幕府の祈願所として創建されました。学僧としても世に知られた浄蔵は、真言教学、梵字悉曇(サンスクリット)学に関する多くの研究書を著し、また仏教徒としての戒律護持の大切さを丁寧な説いて、幕府の厚い信頼を得ました。一方で、江戸庶民を対象にも多くの灌頂、授戒を行っており、霊雲寺は民衆にも寄り添う存在として広く親しまれていくことになるのです。

この特集では、霊雲寺が所蔵する名宝と当館所蔵の関連資料とともに展示し、霊雲寺と寺宝の魅力、浄蔵の行状について紹介します。観覧後は、上野公園から不忍池、湯島天神を経て霊雲寺へ、また浄蔵の墓所である根津の妙極院まで足を延ばしてみませんか?

(瀬谷愛)

◎弥勒曼荼羅図

鎌倉時代・13世紀
東京・霊雲寺蔵
災害や罪業を消滅させる密教の修法、息災法の本尊で、中央に弥勒菩薩が坐しています



◎江戸名所図会

齋藤長秋筆
江戸時代・天保7年(1836)
徳川宗敬氏寄贈
「灌頂の闇よりいであさくら哉」。霊雲寺で灌頂を受け、目隠しの闇と心の闇が同時に晴れる喜びが詠まれています



本館 日本に会う

本館 5 6 室 武士の装い

刀身&刀装、合わせて見るべし！

重文
太刀 無銘 大和物
(号 獅子王)

3月22日(水)～6月4日(日)

平安時代後期の武将、源頼政が鶴を退治したことから天皇より賜ったとされる太刀で、由来は明らかではありませんが「獅子王」の号があります。刀身は平安時代の終わりに大和国で制作されたものと考えられ、刀装はそれより後の鎌倉時代の作とみられ、こうした柄、鞘、金具のすべてを黒漆塗とした太刀の刀装は「黒漆太刀」と呼ばれています。刀装は、時代を経るなかで読え直されることも多く、獅子王のように刀身と古くからの刀装がセットで伝えられることは極めて稀です。

(酒井元樹)



◎太刀 無銘 大和物 (号 獅子王)

平安時代・12世紀

◎黒漆太刀 (◎太刀 無銘 大和物 (号 獅子王) の拵)

黒漆太刀の現存作例は極めて少なく、その理解はこれからの課題です

本館 8 室 書画の展開

芦雪のトリプルイメージ！

「桜下美人図」

3月22日(水)～4月16日(日)



(部分)



桜下美人図

長沢芦雪筆

江戸時代・18世紀

蝶がいに匂いに誘われ舞うほどの美人。鬼才芦雪の優品です

しだれ桜の下、娘と侍女。娘は豪華な武家風の装いで、舞い降りる花びらをキャッチしようと右手を広げ、全身で弓形の姿をつくっています。右袖前にも花びらがひとひら、右下には3匹の蝶。

唐代の美人「楚蓮香」が外出すると、美しい顔立ちとよい香りに、蝶が花と間違え舞い寄ってきたといわれています。その「楚蓮香」見立てなのでしょう。

でも裾から覗くのは、足袋ではなく素足。武家姿ではないのです。芦雪は、武家でない女性を絵の中で武家風にコスプレさせたのかもしれない。視覚トリックの「妙」を、実際に作品の前に立って確かめてみてください。

(山下善也)

本館 9 室 能と歌舞伎

右方？ 左方？

演目の違いで衣装を比較

「舞楽装束」

4月18日(火)～6月11日(日)

舞楽は、中国大陸から伝わった雅楽という音楽に舞をつけたもので、演目に合わせた舞楽面と装束をまとうて舞われます。宮廷貴族に好まれたため、舞楽装束は、広い袖に長い裾をともなつた優雅な形をしています。

本館9室の恒例の展示ですが、今年は朝鮮半島から伝わったとされる右方高麗楽の走舞「貴徳」と、中国・唐から伝わったとされる左方唐楽の武舞「陪廬」の装束を中心に、左右それぞれの常装束も合わせて展示します。右方と左方、それぞれの色やデザインを比較しながら、宮廷の雅な文化をお楽しみください。

(小山弓弦葉)



舞楽装束 貴徳(補襦)

江戸時代・19世紀



舞楽装束 陪廬(補襦)

江戸時代・19世紀

頭からかぶって着るベストのような補襦。演目によって形も模様も異なります

本館 15 室 歴史の記録

ミニチュア、模型、見本…
その多彩な世界へご招待

「雛形」

4月18日(火)～6月11日(日)



有職菓子模造

江戸時代・19世紀 榎原芳野氏寄贈
味だけでなく、姿や彩りの美しさ、文学的で雅な菓銘を競った有職菓子の雛形

模造 逆沢瀉威 鎧雛形 堀越紫郷作 昭和時代・20世紀

原品:平安時代・12世紀 宮内庁三の丸尚蔵館蔵

聖徳太子が幼少の頃の玩具として伝わったミニチュアの鎧兜を模した雛形です

雛形には、実物を小さくかたどって作ったものの、模型、形式・様式を示す見本、書式などの意味があります。たとえば、室町時代に盛んであった犬追物の様子を伝える武田流犬追物雛形。江戸時代の同心が犯人逮捕の技術を習熟するための早縄掛雛形。また宮廷や神社に伝わった美しい有職菓子模の雛形、女性のさまざまな髪形のミニチュアもあります。最先端の流行のきっかけとなったデザインや、伝統的な技法などを今日に伝える、多彩で楽しい雛形の世界をご紹介します。

(高橋裕次)

6/4 日

◎太刀 無銘 大和物(号 獅子王)
平安時代・12世紀
◎黒漆太刀(◎太刀 無銘 大和物
(号 獅子王)の拵) 鎌倉時代・13～14世紀



号の由来は不明ですが、刀身とその刀装が古くから伝わったことは貴重です

4 茶の美術

志野茶碗 銘 振袖 美濃
安土桃山～江戸時代・16～17世紀
口縁が緩やかに起伏をなし、細く柔らかな筆致の鉄絵が特徴的です



3/22 水 6/11 日

伽藍石香合 伊賀
江戸時代・17世紀
寺院建築の柱の下に置く礎石の形を模した香合。素朴な中に力強さが漂います



3 - 3

3 22 水 4 23 日
四季花鳥図屏風 狩野元信筆
室町時代・16世紀 個人蔵
元信による花鳥図屏風の名品。生き生きとした鳥の動きにご注目!



(部分)



(部分)

4 25 火 5 28 日

◎四季花鳥図屏風 伝雪舟等楊筆
室町時代・15世紀
動植物が大きく、ほぼ実物大に描かれた迫力満点の屏風です

3 - 2

4 25 火 5 28 日
◎馬医草紙
鎌倉時代・文永4年(1267)
世にも稀な馬の医者(うまいし)の秘伝書で、過去の名馬や薬草などを描きます



(部分)

4 9 日 ◎花下遊楽図屏風

狩野長信筆 江戸時代・17世紀



(左隻)

4 11 火 ◎金光明最勝王経金字宝塔曼荼羅図

平安時代・12世紀 岩手・大長壽院蔵
塔を形作るのはお経を書写した文字! 展示室でよく目を凝らしてみてください



(第一幀部分)

(部分)

2

国宝室

5 9 火 6 4 日

◎法華経巻第一(浅草寺経)

平安時代・11世紀

華麗で繊細な平安時代後期の装飾経。この時代を代表する優品です



(部分)

3 22 水 4 23 日

報恩経 伝魚養筆 奈良時代・8世紀

すべての人々を救済する釈迦の行いを説いた經典を、細字で上下2段に書いたものです



(部分)

3 22 水

4 23 日

◎准胝観音像

平安時代・12世紀

田中親美氏寄贈

平安仏画の美しさと鎌倉仏画の力強さを共に宿す点が魅力です



(部分)

3 - 1

仏教の美術
— 平安～室町



(部分)

4 25 火 5 28 日

特別展「茶の湯」(本誌2ページ)に関連した作品を中心に展示します。

五髻文殊像

鎌倉時代・14世紀

松永安左工門氏寄贈

最後の茶人と言われた松永耳庵(安左工門)が茶会で用いた画像です

術の流れ 戸まで、 どる日本美術史



入口

本館 1 1 室
日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳

本館 1 2 室
仏教の興隆
— 飛鳥・奈良

本館 2 室
国宝室

1 - 1
日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳

◎埴輪 猿 伝茨城県行方市沖洲
大日塚古墳出土 古墳時代・6世紀
背中の子猿を気遣う母猿の姿を表した、愛らしい埴輪です



7 17 月・祝
袈裟褌文銅鐸(三遠式)

静岡県浜松市北区
細江町中川(恵ヶ谷)出土
弥生時代(後期)・1～3世紀
鹿と水鳥を描いた大きくて華麗な銅鐸です

1 - 2

仏教の興隆
— 飛鳥・奈良

4 25 火 7 9 日

◎如来立像 飛鳥時代・7世紀

法隆寺献納宝物のなかでただ一つの木彫像で、クスノキで作られています





7

屏風と襖絵

— 安土桃山・江戸

(左隻)



4/25 火

桃源仙境図屏風

福田半香筆 江戸時代・安政2年(1855)

5/28 日

広がる桃源郷の平和な光景、仮想体験の旅に出かけてみませんか?



(右隻)

3/22 水 — 4/23 日

桜山吹図屏風

依屋宗達筆 江戸時代・17世紀

田沢房太郎氏寄贈

桜と山吹が奏でる春の景。色面による大胆な画面構成が魅力的です

5

6

武士の装い

— 平安～江戸

◎黒韋肩袂取威胴丸

室町時代・15世紀

濃紺と白、紅の色取りが華やかな胴丸で、兜と袖を完備していて貴重です



8 - 1

暮らしの調度

— 安土桃山・江戸

4/16 日

桜山吹図茶碗

江戸時代・17世紀

広田松繁氏寄贈

枝葉を巧みに配し、一本の枝垂桜で器表を覆うようなデザインです



5/9 火 — 7/30 日

瑠璃地染付蓮図水指

伊万里

江戸時代・17世紀

瀟洒な趣が何となく惜しい、初期伊万里の代表作です



8 - 2

書画の展開

— 安土桃山・江戸

9

4/16 日

能と歌舞伎

謡曲「春日龍神」をテーマに、江戸時代の能面・能装束を中心に展示します。



狩衣

紺地雲龍丸模様

江戸時代・18世紀

龍の模様を織り出した華やかな金襴の狩衣です



4/18 火 — 6/11 日

右方高麗楽の走舞「貴徳」と左方唐楽の武舞「陌離」の装束を中心に展示します。

舞楽装束 貴徳(裾襦)

江戸時代・19世紀

走舞の裾襦は獣毛のような華やかな毛縁がついた勇壮な姿です

【衣装】

4/16 日

春の訪れが感じられる花の模様や、江戸時代の婚礼衣装を中心に紹介します。

小袖 茶平緋地椿枝垂柳樹軸模様

江戸時代・18世紀

雛形本にも掲載されるデザイン。友禅染の優品です



4/18 火 — 6/11 日

藤・牡丹・桐など、春の終わりに初夏にかけて咲く花の模様や風景のものを展示します。

◎小袖

茶綸子地四季耕作風景模様

江戸時代・19世紀

一領のきものに友禅染で染めた田植えや稲刈りなど四季折々の農耕風景



10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

3/22 水 — 4/16 日

桜や山吹など春の花を描いた浮世絵でお花見を!

◎北廊月の夜桜

歌川国貞(三代豊国)筆

江戸時代・19世紀

吉原大門から、メインストリート仲之町の夜桜を望む江戸の粋



4/18 火 — 5/14 日

金太郎など男の子の節句にちなんだ作品と藤を描いた浮世絵を展示します。

金太郎

勝川春英筆

江戸時代・18世紀

子供の健やかな成長を金太郎に託した元気で明るい作品です



5/16 火 — 6/11 日

初夏らしい浮世絵とめずらしい企画の揃物版画作品を展示します。

◎東扇・中村仲蔵

勝川春章筆

江戸時代・18世紀

忠臣蔵の弁定九郎(おのさだくろう)を演じる中村仲蔵が似顔で描かれています



うがやふきあずのふとこうたんず

犬野探幽筆

江戸時代・17世紀

金谷寛氏寄贈

神話の名場面を描いています。横につく絵巻物を縦に変換したような画面は探幽の独創です



(部分)



本館 7 室

屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸

本館 6 室

武士の装い
— 平安～江戸

本館 8-1 室

暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

本館 8-2 室

書画の展開
— 安土桃山・江戸

本館 9 室

能と歌舞伎

特別 2 室

本館 10 室

浮世絵と衣装
— 江戸

出口

東洋館

アジアを旅する

東洋館 8室
「中国の絵画」

実はおめでたいモチーフなんです

「描かれた虫・鳥・獣」

4月11日(火)～5月14日(日)

自然の中に虫や鳥、獣を描いた作品は一見、目にした光景をそのまま写したようにも見えますが、モチーフに選択されているものには基本的な吉祥の意味が隠されています。画家たちは古画から学んだ成果を消化し独自の工夫を加えて、めでたい動植物を描いてきました。

明代の画家・呂健による「崑崙松鶴図軸」もそのような作品の一つ。鶴も松も古くから長寿の象徴として愛されてきました。緻密な羽毛描写や霞たなびく幽遠な背景山水に、宋代絵画学習の痕跡が見られる一方、巨大な松と華奢な鶴の対比に、彼独特の美意識が感じられます。その他、鮮やかな色彩が美しい、元から清代の草虫図、花鳥図、走獸図を展示します。

(植松瑞希)

崑崙松鶴図軸
呂健筆 中国
明時代・16～17世紀
呂健は明代を代表する花鳥画家・呂紀(りよぎ)の曾孫です。



(部分)

東洋館 8室
「中国の書跡」

拓本で見る多彩な楷書の世界

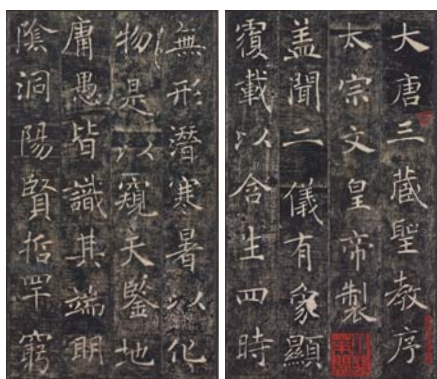
「隋唐時代の書」

「拓本の世界」

4月25日(火)～6月25日(日)

南北統一を果たした隋の時代、優雅さと険しさといった南北それぞれに行われていた字姿は融合され、均整のとれた造形美をたたえる楷書が出現します。唐代の書はそれを継承しながらも、唐初に虞世南・歐陽詢・褚遂良らが、理知的で洗練された美の極致ともいえるべき楷書を完成し、やがて顔真卿が特異な筆使いをまじえて、どこか人間味のある雄渾な字姿を示しました。後世の規範ともなったスタイリッシュな楷書をはじめ、隋唐時代の多彩な書の世界を、各種の拓本からお楽しみください。

(六人部克典)



雁塔聖教序

褚遂良筆 中国 原跡：唐時代・永徽4年(653) 高島菊次郎氏寄贈
しなやかで気品に満ちたこの楷書は、唐の四大家の1人、褚遂良の名品です

東洋館 9室
「中国の漆工」

中国彫漆の礎がここに

楼閣人物堆黑盆

4月18日(火)～7月23日(日)

*5月9日(火)～6月4日(日)は特別展「茶の湯」(本誌2ページ)で展示します。

中国の代表的な漆芸は彫漆です。漆を塗り重ねて層を作り、その漆の層を彫刻する技法であり、宋時代以後に広く行われるようになりました。黒漆の彫漆を堆黒、朱漆の彫漆を堆朱といいます。この堆黒盆は南宋時代の制作であり、そこに施されている技法や表現を見てゆくと、後世の彫漆作品に比べて、まだ漆の層は薄く、花卉・楼閣・人物・石畳を表わす彫刻はたどたどしく、いじらしい一生懸命さが認められます。彫漆の礎ともいえるべき作品です。

(猪熊兼樹)



楼閣人物堆黒盆

中国 南宋時代・12～13世紀
空には月が浮かび、月面では桂の樹のもとでウサギが白をついてます



(部分)

東洋館 10室
「朝鮮の磨製石器と金属器」

冠の形で個性を競う

金銅冠

4月25日(火)～10月15日(日)

朝鮮半島の三国時代には各地に有力者が現れ、古墳の造営や様々な金属製品で個性を競いました。

この冠は、東南部の加耶諸国のうち、慶尚北道高靈を中心に栄え、加耶の指導的立場にあった「大加耶」に特徴的な形をしています。頭に巻く部分(冠帯)の上に、幅の広い立飾がつき、その両側に枝が生えた形になっています。

純金の冠は王だけのもので、王に次ぐ地方首長は金銅の冠を用いていました。この冠は、大加耶の王の影響下にあった有力首長のものでしょう。

(白井克也)



金銅冠

朝鮮
三国時代(加耶)・5～6世紀 小倉コレクション保存会寄贈
金銅板を縁取るように、波形の文様が彫り込まれています

法隆寺宝物館

宝物に浸る

平成館

考古で遊ぶ

●平成館 考古展示室

どう使う？ 想像をかきたてる多様性

特集 「須恵器の展開」

3月7日(火)～6月11日(日)

古墳時代の日本列島で、朝鮮半島からの新たな技術で作られ始めた土器が、須恵器です。斜面に設けられた窖窯で高温で焼かれ、窯の焚口をふさぐことで灰色に焼き上げられたため、それまでの土師器には見られない金属的な質感を持っています。

須恵器のさまざまな形は、それぞれの使い方と関わりがあります。大きな甕は食料や液体を貯蔵するのに用いられました。お椀の形に脚がついた高坏は、食事を盛るための器ですが、須恵器には脚がない蓋坏も登場するこ

●法隆寺宝物館 第5室

謎に満ちた2面の古代鏡

「国宝 海磯鏡」

通年

聖徳太子の追善供養のため、光明皇后が法隆寺へ施入した鏡で、天平19年(747)成立の『法隆寺伽藍縁起并流記資材帳』に記載された「海磯形」の鏡がこの2面に相当すると考えられています。2面ともに紐を通すための突起を中心として、四方に山岳を配して間地を波濤で埋め尽くし、波の中には船に乗り網を打つ人物や鴨、山岳の樹林には鹿などの鳥獣を描くなど、基本的な図様構成は共通しているものの、その細部には明

とから、食器を手にとって食べる習慣はこの頃に始まったとも推定されています。

胴に穴の開いた甕は、この穴に竹の棒などを指して、急須のように液体を注ぐために用いられたと考えられています。朝鮮半島の古墳では甕を金属で再現した例があり、細長い注口が表現されています。

本特集では、このような須恵器の造形の多様性をご覧ください。(白井克也)



環状提瓶

古墳時代・6世紀
広島県安芸高田市奥田山出土
水筒のように用いられたようですが、独特の形は高句麗に類例があります

確な差異が認められます。おそらくは片方を原型として、もう一方をコピーして製作されたと思われるが、その手順や技法については不明な点が多く、ミステリアスな魅力を湛えています。(末兼俊彦)

●海磯鏡
唐または奈良時代・8世紀
聖徳太子の忌日にあたる天平8年(736)2月22日に光明皇后が施入した鏡です



1000年後の未来に パトンタッチ！

保存と修理情報

40

さまざまなクリーニング方法

クリーニングは、文化財の修理工程で欠かせない重要な作業です。ただし、ただキレイにするということではありません。歴史的な経緯によって付着、蓄積したものが重要な情報である場合もあります。そのため「除去してよいものか」「除去可能なものか」「どこまで除去するか」「残しながら展示・保存が可能か」などを話し合い、文化財の状態に合わせた処置方針を立てます。クリーニングを行うことで、文化財は鑑賞しやすく、保管時も劣化状態の確認が容易で、さらに、問題が生じた時にも気づきやすい環境となります。

また、文化財の種類や損傷状態、汚れなどの付着物の種類によっても、クリーニング方法はさまざまです。毛先が細く柔らかい筆や刷毛で払う方法、消しゴムの粉など樹脂に吸着させる方法、粘土の吸着性を利用してバックする方法、水や有機溶剤を使用し溶解させる方法など、文化財とその状態に合わせた方法をテストしながら選択します。そして、今まで展示ができなかった多くの収蔵品が、再び



大理石の仏像：粘土を使ったバックでクリーニング(右は汚れを吸ったバック)

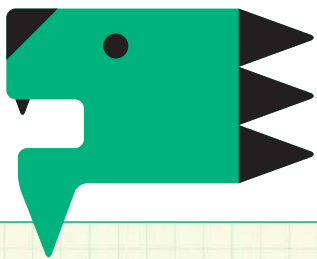


藤盆：藤細工に付着した汚れを、ろ過水などを含ませた綿棒でいねいにふき取ります



木造の仏像：彩色の状態を見ながらたまごほり汚れを刷毛で払います

スポットライトを浴びることができるよう、日々作業をしています。(野中昭美)



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

「親と子のギャラリー『トーハクでバードウォッチングーキジやクジャク、鳳凰が勢ぞろい』の見方と特集展示ができるまで」

*関連展示: 本誌5ページ

日時: 5月27日(土) 13:30 ~ 15:00

講師: 勝木言一郎(教育講座室長)、神辺知加(教育講座室主任研究員)
会場: 平成館大講堂 定員380名(先着順)

キジ科を代表するクジャク、そしてキジ科の鳥から着想を得て生み出した鳳凰を作品から読み解くとともに、人とモノをつなぐための展示(構成や手法など)についてお話しします。

*聴講無料(ただし当日の入館料が必要)。*開場は開始の30分前(予定)。

ギャラリートーク

保存と修理 立体作品修理の現場から *関連展示: 本誌6ページ

日時: 4月11日(火)14:00 ~ 14:30 平成館企画展示室

講師: 野中昭美(保存修復室アシソシエイトフェロー)

考古遺物や工芸品などを見ながら、立体作品修理の難しさやおもしろさをお伝えします。

ここに注目! 保存と修理入門 *関連展示: 本誌6ページ

日時: 4月14日(金)18:30 ~ 19:00 平成館企画展示室

講師: 瀬谷愛(保存修復室主任研究員)

展示室の解説には書ききれない、注目のポイントや舞台裏についてお話しします。

近代茶人と仏画—松永耳庵の場合

日時: 4月25日(火)14:00 ~ 14:30

本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師: 沖松健次郎(絵画・彫刻室主任研究員)

当日参加
OKです!



特別展「茶の湯」(本誌2ページ)に関連し、近代の茶の湯において用いられた仏画の意義を、最後の茶人と評された松永耳庵(安左工門)氏寄贈の仏画を通して考えます。

中国石窟の仏像

日時: 5月9日(火)14:00 ~ 14:30 東洋館ミュージアムシアター

講師: 勝木言一郎(教育講座室長)

雲崗石窟、龍門石窟、響堂山石窟、天龍山石窟など、中国有数の石窟寺院の解説を交えながら、東洋館にあるこれらの仏像の魅力について語ります。

幕府祈願所雲雲寺と開基浄厳 *関連展示: 本誌6ページ

日時: 5月16日(火)14:00 ~ 14:30 本館特別2室

講師: 瀬谷愛(保存修復室主任研究員)

元禄4年(1691)幕府の祈願所として湯島に創建された雲雲寺と開基浄厳について、5代将軍徳川綱吉との交流も交えながらお話しします。

舞楽面・行道面と仮面芸能の魅力

日時: 5月23日(火)14:00 ~ 14:30 本館14室

講師: 西木政統(絵画・彫刻室アシソシエイトフェロー)

社寺の法会では、しばしば仮面を用いた芸能がおこなわれ、人々を楽しませました。なかでも代表といえる舞楽面や行道面をもとに、その魅力に迫ります。

展覧会情報の調べ方について

日時: 5月30日(火)14:00 ~ 14:30

本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師: 住廣昭子(情報資料室員)

展覧会や展覧会カタログに関する情報の調べ方について、有用な文献やインターネット上の情報源をご案内します。

国際博物館の日記念ガイダンス「トーハクへようこそ」

日時: 5月18日(木)11:00 ~ 11:30、14:00 ~ 14:30

本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

講師: 小林牧(博物館教育課長)

トーハク初心者のみならず、博物館のしごとの裏側と今日のおすすめ作品を紹介します。

気になる
ほー



ART
2

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ 勾玉作り

日時: ①6月4日(日) ②7月2日(日) いずれも13:30 ~ 15:30

会場: 本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象: 小学校3年生 ~ 中学生(保護者の見学可能)

定員: 20名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費: 無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法: 当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。

往復はがきの場合は、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名までの氏名・ふりがな、(2)参加者の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所)、(3)代表者の電話番号、(4)保護者が見学する場合はその人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切: ①5月8日(日) 必着 ②6月5日(月) 必着

申込先: 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室

①「6月4日勾玉作り」、または②「7月2日勾玉作り」係

お問合せ: TEL 03-3822-1111 (代) ボランティア室

お茶会、庭園茶室ツアー 運営変更のお知らせ

2017年4月より、ボランティアによるガイドツアーのうち、お茶会、庭園茶室ツアーの実施時間と整理券配布方法を変更します。

ボランティアによるお茶会

実施時間: 1席目 11:00 ~ 12:00 2席目 13:00 ~ 14:00

整理券配布方法: 2席とも9:30から配布開始

整理券配布場所: 本館エントランス(11室側)

庭園茶室ツアー

実施時間: 11:00 ~ 12:00

整理券配布方法: 9:30から配布開始

整理券配布場所: 本館エントランス(11室側)

工程見本展示

平成29年度東京藝術大学大学院インターンシップ
調査研究班「紅型」ができるまで

今回の工程見本は、沖縄の紅型をテーマに制作しました。元となっている「紅型衣装 白木綿地牡丹模様」は、白地に牡丹の花・蕾・葉を密に染め出した作品です。複雑な模様構成や鮮やかな色彩には、19世紀の沖縄・琉球王朝の時代に花開いた染色技術の粋が尽くされています。現地調査と、現在手に入る材料での復元制作で、技術と文化に迫ります。

場所: 本館19室 みどりのライオン 期間: 4月18日(火) ~

○紅型制作

山田麻緒(東京藝術大学大学院美術研究科工芸専攻染織研究室 博士課程)
大小田万侑子(同 芸術学専攻美術教育 修士課程)

○デザイン

内山耀一朗(同 デザイン専攻視覚・伝達研究室 修士課程)

○進行

玉井あや(同 芸術学専攻工芸史研究室 修士課程)
月村紀乃(同 芸術学専攻工芸史研究室 修士課程)
※所属は2017年3月現在

*原品「紅型衣装 白木綿地牡丹模様」は、
7月25日(火) ~ 9月3日(日)、本館16室にて展示



紅型衣装 白木綿地
牡丹模様(原品)
第二尚氏時代・19世紀



事前申込制 [はがき・Eメール]

国際博物館の日記念ツアー

「上野の山でキジめぐり」

上野動物園、国立科学博物館、東京国立博物館の専門家と一緒に、様々なキジの姿を見つけに行きましょう。目指せ、キジ博士！

日時：5月14日（日）9:00～12:30

会場：上野動物園→国立科学博物館→東京国立博物館の順に巡ります。

対象：開催時に小学5年生以上

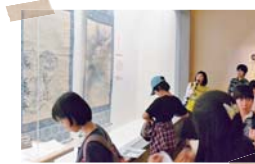
定員：30名（応募者多数の場合は抽選）

参加費：無料

持ち物：筆記具（鉛筆）・飲み物

申込方法：はがきまたはEメールでお申込みください。

(1) 講座名「上野の山でキジめぐり」、(2) 参加希望者全員の氏名・ふりがな・年齢（学年）、(3) 代表者の住所・氏名・ふりがな、電



話番号、(4) 質問1「このイベントを何で知りましたか？」及び質問2「このイベントに関し、興味があること、または質問したいこと」への回答を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

〈はがき〉〒110-8711 東京都台東区上野公園9-83

上野動物園 教育普及係「キジめぐり2017」

〈Eメール〉kijimeguri2017@tokyo-zoo.net

（件名を「キジめぐり申込」としてください）

申込締切：〈はがき〉4月23日（日）必着 〈Eメール〉4月23日（日）送信分まで有効
*1回の申込で、最大4名まで申込可。

*応募者多数の場合は抽選とし、4月29日（土・祝）までに、当選者
にのみ参加証の発送をもって通知。

*申込の際は、@tokyo-zoo.netからのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。特に携帯電話から申込の方はご注意ください。なお、自動返信などによる確認メールの送信はありません。

お問合せ：TEL 03-3828-5171（代表） 上野動物園 教育普及課 教育普及係

*当日、取材が入る場合があります。また、職員が記録撮影をおこないますので、ご了承ください。

*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111（代）

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。



国宝ってなんだほ？



日本には、有形・無形の文化財を国が指定して保護する制度があります。今回は、有形文化財が国宝に指定される仕組みについてざっくりご紹介します。

ほーい！ ユリノキちゃん、トナーハクには“こくほー”がたくさんあるんだほー

ええ、今88件^(※1)あるから日本の国宝のだいたい8%くらいが保管されていることになるわね。

すごいほーで、“こくほー”ってなんだほ？

いろんな文化財の中で、作り方が特に難しかったり珍しかったりするきれいなものや、昔の有名なおさむらいさんや政治家の人に関係あるもの、歴史の中で重要なことを記録した紙など、「これは日本で大切にしなければならぬ」というものを、国が「重要文化財」と決めるんだけど、その中でも、特に大事なものが国宝よ。

ほー だれが決めるんだほ？

うーん、誰かしら…

トナーハクくん、ユリノキちゃん、最後に決めるのは文部科学大臣よ。

あ、広報室のKさん！

文部科学大臣って文化財のことは全部知っているんだほ？

もちろん、一人で決めるわけじゃないわ。文化財の調査をする美術や工芸、考古など各分野の専門家が、文化庁という役所にいるんだけど、その人たちが全国の文化財を調査して、文化財の価値や傷んでいるかどうかによって重要文化財に指定する候補を決めるの。国宝は、すでに重要文化財に指定されているものの中から選ばれるのよ。

じゃあ、まず重要文化財にならないと国宝にはなれないんだほ？



国宝第1号
「普賢菩薩像」
平安時代・12世紀



昨年国宝に指定された「洛中洛外図屏風（舟木本）」 岩佐又兵衛筆 江戸時代・17世紀

そうね。でも、重要文化財になってから国宝になるのに何十年もかかることもあるわ。

どれを国宝にするかはどうやって決めるんですか？

国宝を決めるための専門家が集まる審議会で文化庁が挙げたリストを元に検討してどれを国宝にしたらよいか意見をまとめるの。現在^(※2)メンバーは各分野あわせて55人。全員が賛成したら国宝になるのよ。

たくさんの専門家の人が相談して決めるのね。

どうやったら国宝になれるんだほ？

なりたい、って言っても簡単にはなれないわよ。

そうね、誰かが「国宝にしてください!」と頼んでるわけじゃないわね。国宝は、重要文化財の中で、研究の結果新たなことがわかったり、国内外の展覧会で多く公開され一般の皆さまによく知られるようになったりして、その文化財の価値が高まったと考えられると選ばれます。例えば、昨年トナーハク所蔵の「洛中洛外図屏風（舟木本）」が国宝になったのは、近年洛中洛外図やその筆者として岩佐又兵衛に関する研究が進んでこの作品の重要さが改めて認められたこと、またトナーハクで「京都」展（2013年）が開催されるなど、多くの人の注目を集めて価値が高まった、ということ、重要文化財から国宝に「格上げ」されたのよ。

ほくもみんなにみてもらって有名になりたいほ。みんなほくについて研究してほしいほ！

まずは重要文化財にしてみらわないとね…

国宝への道は長いほ。

※1、2 2017年3月現在

特集「平成29年度新指定 国宝・重要文化財」

4月18日（火）～5月7日（日） 本館8室、11室 主催：文化庁、東京国立博物館

上野ウェルカムパスポート販売のお知らせ

上野地区の文化施設を網羅したスタンプラリー付き
共通入場券「UENO WELCOME PASSPORT」。
上野地区の10施設の常設展等に期間中各1回入場
できます。今回は特別展も観覧できるパスポートも
初登場! 上野散策のお供にぜひご利用ください。

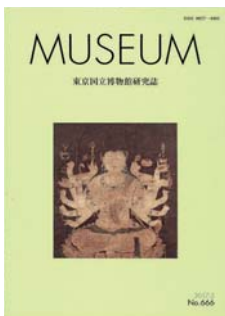
販売・利用期間: 2017年4月1日(土)~9月30日(土)
販売価格: パスポート2,000円(税込)、特別展付
パスポート3,000円(税込)

販売場所: 東京国立博物館正門チケット窓口、
対象の施設、エキユート上野、上野文化の杜オフィ
シャルサイトほかで販売。詳細はオフィシャルサイト
でご確認ください。 オフィシャルサイト <http://ueno-bunka.jp/>



『MUSEUM』666号(2017年2月15日発行)の掲載論文

- ①「慶長小袖」の所蔵者の変遷と染織品コレクター
田村春曉とのかかわり—重要文化財「小袖(繡
箔風景四季花文)」(文化庁所蔵)を中心に—
荘加直子(日本女子大学大学院)
 - ②「大正期の正倉院拝観資格の拡大と皇室博物
館総長森嶋外」
田良島哲(当館博物館情報課長)
 - ③「『資料紹介』重要文化財 准舘仏像」
沖松健次郎(当館絵画・彫刻室主任研究員)
- お問合せ: 当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(TEL:03-5244-5723)
定価: 1,543円(税込)



上野ミュージアムウィーク —「国際博物館の日」記念事業2017—

5月18日の国際博物館の日を記念して、5月6日(土)~21日(日)の期間、上
野の博物館・美術館など13の施設と商店でさまざまなイベントを開催します。
当館では5月18日(木)を総合文化展無料観覧日とするほか、ガイダンス、上
野三館園連携事業「上野の山でキジめぐり」(本誌13ページ)などを開催。
公式ホームページ <http://www.ueno-mw.com/> (4月上旬公開予定)



初夏東博寄席

日時: 2017年6月24日(土)
13:00開場 13:30開演
会場: 東京国立博物館 平成館大講堂
出演: 金原亭馬生・金原亭馬治・金原亭馬玉・
金原亭馬久・花島津津子 他 (予定)
料金: 2,000円(全席自由)
*当日は公演のチケットで総合文化展をご覧いただけます。
*チケットは正門チケット売場、およびローソンチケットにて
ご購入いただけます。
*詳しいチケットのお求め方法は、当館ウェブサイトでご確認ください。
お問合わせ: TEL:03-3822-1111(代)総務課イベント担当
*イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。



東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広く
ご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、
文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実
にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいた
だき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

◎年会費

〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上
特別会員 100万円(1口)
維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上
特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎申込方法

当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジット
カード決済)、銀行振込で随時受け付けています。

◎お問合わせ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2017年3月14日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様

個人

プレミアム会員
上久保のり子 様
岩間 良孝 様
特別会員
谷川 紀彦 様
佐久間 晴晴 様
田中 将介 様
井田 悦郎 様
維持会員
伊藤 信彦 様
数内 匡人 様
服部 悦子 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
高田 京子 様
齋藤 裕祐 様
和山 喜美子 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様

維持会員 団体

株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
日本通運株式会社 美術品事業部 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様

加藤 孝明 様
伊佐 健二 様
軽部 由香 様
木越 純 様
井上 保 様
田中 信 様
岡崎 子 様
古川 晴紀 様
菊地 昌之 様
若本 光雄 様
山本 隆幸 様
鈴木 春樹 様
山上 知子 様
名取 幸二 様
増淵 信義 様
要 英範 様
安田 格 様
筑紫 みづえ 様
鳥山 玲 様
栗山 哲夫 様
榎本 孝生 様
岡田 良雄 様
阿部 和加子 様
師田 久子 様

株式会社 グラスパウハー・ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キョーマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様
朝陽書道会 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
株式会社 清光社 様
一般社団法人 学士会 様

羽石 史生 様
前田 寿子 様
笠原 勉 様
高木 結司 様
小川 恭子 様
田中 三伊 様
黒河 英俊 様
廣瀬 敬章 様
北田 俊也 様
岩本 みち子 様
瀧本 萬 様
秋元 幸雄 様
中山 安弘 様
鈴木 健之 様
野田 和佳子 様
木村 則子 様
水田 涉子 様
吉原 剛一 様
本吉 丈夫 様
重田 綾子 様
五嶋 滋之 様
笹川 統 様
檀上 静香 様

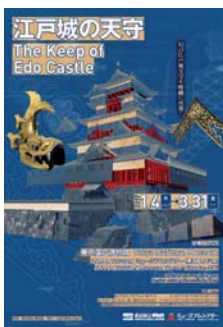
TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

○VR作品『江戸城の天守』～4月23日(日)

※徳川家光によってつくられた史上最大にして江戸城最後の天守。その巨大な木造建築には当時最高峰の技術が注がれました。明暦の大火で焼失した天守は、いったいどんな姿をし、どのようにつくられたのでしょうか?図面や絵図、現在も残る文化財などを手がかりに、天守の部材ひとつひとつまで精緻に再現した映像を見ながら、歴史考証をお楽しみいただきます。

料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

*総合文化展とセット購入で一般:1,000円/大学生800円
*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
*今後の上演作品等、詳細はウェブサイトをご覧ください。
URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>



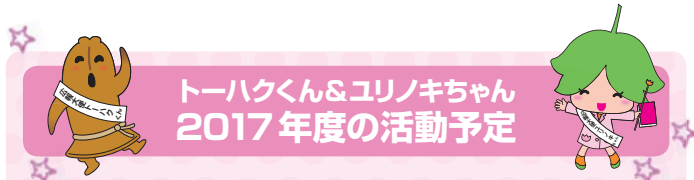
特別展「タイ ～仏の国の輝き～」チケットプレゼント

本誌3ページでご紹介した特別展「タイ ～仏の国の輝き～」(7月4日<火>～8月27日<日>)の無料観覧券(10組20名様)をプレゼント。締切は6月10日(土)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 広報室「ニュース4・5月号」プレゼント係



トーハクくん&ユリノキちゃん 2017年度の活動予定

広報大使就任2年目、今年度からは、もっとみなさまと会えるよう、活動機会を増やします! 登場予定は以下のとおりです。

日時

・毎月第1土曜日(8月を除く)

- ・5月18日(木)
- ・7月30日(日)
- ・9月18日(月・祝)
- ・9月22日(金)
- ・10月8日(日)
- ・2018年1月2日(火)
- ・2018年3月26日(月)

11:00～、13:00～、15:00～

場所 本館前

このほか、春・秋の庭園開放期間中および特別展覧会開催中に、不定期で登場します。

*予定は変更になる場合があります。

*登場時間、場所は随時当館Twitter、Facebook等で告知します。



東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

●総合文化展は、金・土曜日および4月30日(日)、5月3日(水・祝)・4日(木・祝)・7日(日)、11月2日(木)は21:00まで

*特別展「茶の湯」は、金・土曜日は20:00まで、日曜日および5月3日(水・祝)・4日(木・祝)は18:00まで

●4月～9月までの日曜・祝日は18:00まで

●9月22日(金)・23日(土)は22:00まで

●いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日:

月曜日(祝日・休日に当たる場合は開館、翌平日休館)
年末年始(12月26日(火)～2018年1月1日(月・祝))

●3月27日(月)、4月3日(月)、5月1日(月)、8月14日(月)、10月10日(火)、12月25日(月)、2018年3月26日(月)は開館

●12月12日(火)は臨時休館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

一般＝620(520)円 大学生＝410(310)円

●()内は20名以上の団体料金

●障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

●国際博物館の日(5月18日(木))、敬老の日(9月18日<月・祝>)は、総合文化展のみ無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、Instagram、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

東京国立博物館会員制度(2017年4月からの新制度)

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効
年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚配布、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等様々な特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効
年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚配布します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効
年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読
年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申し込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は5月10日(水)です。

○申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申し込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度

口座番号:00140-3-791791

●振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度収められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代)総務課会員制度担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝日は除く)

FAX 03-3821-9680

1 土	夜間開館(21:00まで) 庭園ライトアップ(19:30まで) 春の庭園開放 13:30 14:00 ★ 11:00、13:00、15:00 博物館でお花見を 黒田記念館特別室公開
2 日	時間延長(18:00まで) 14:30
3 月	桜の街の音楽会 13:00 法隆寺宝物館エントランス
4 火	11:00
5 水	鑑賞ガイド 14:00 本館地下教育普及スペース ♪東博でパッハvol.35 19:00 法隆寺宝物館エントランス*1
6 木	11:00
7 金	夜間開館(21:00まで) 庭園ライトアップ(19:30まで) 15:00 G「器に咲く桜」18:30 本館地下教育普及スペース
8 土	夜間開館(21:00まで) 庭園ライトアップ(19:30まで) 桜の絵にみる美と心 13:30 平成館大講堂
9 日	時間延長(18:00まで) 近 13:00 15:00
10 月	休館日
11 火	G「保存と修理 立体作品修理の現場から」14:00 特別展「茶の湯」 平成館企画展示室
12 水	♪東博でパッハvol.36 19:00 法隆寺宝物館エントランス*1
13 木	11:00 15:00
14 金	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 14:00 G「ここに注目! 保存と修理入門」18:30 平成館企画展示室
15 土	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 11:00 14:00 15:00 【茶の湯】 桃山の茶陶一和物茶碗 13:30 平成館大講堂
16 日	時間延長(18:00まで) 11:00 11:00 11:00、13:00 14:00 14:30
17 月	休館日
18 火	【茶の湯】呈茶席 11:00 平成館ラウンジ
19 水	
20 木	【茶の湯】呈茶席 11:00 平成館ラウンジ
21 金	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 【茶の湯】呈茶席 11:00 平成館ラウンジ 11:00
22 土	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 【茶の湯】呈茶席 11:00 平成館ラウンジ 13:30
23 日	時間延長(18:00まで) 【茶の湯】呈茶席 11:00 平成館ラウンジ 13:00
24 月	休館日
25 火	【茶の湯】呈茶席 11:00 平成館ラウンジ G「近代茶人伝説―松永耳庵の場合」14:00 本館地下教育普及スペース
26 水	
27 木	【茶の湯】呈茶席 11:00 平成館ラウンジ 14:00
28 金	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 【茶の湯】呈茶席 11:00 平成館ラウンジ
29 土	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 【茶の湯】呈茶席 11:00 平成館ラウンジ
30 日	夜間開館(特別展は18:00まで、総合文化展は21:00まで) 【茶の湯】呈茶席 11:00 平成館ラウンジ

【茶の湯】＝特別展「茶の湯」関連事業。詳細は本誌2ページ

★＝「博物館でお花見を」関連事業。詳細は本誌4ページ

★1＝有料イベント。詳細は本誌前号14ページ ★2＝事前申込制。詳細は本誌13ページ

★＝トーハクくん&ユリノキちゃん登場日。場所は本館前

1 月	
2 火	11:00
3 水	夜間開館(特別展は18:00まで、総合文化展は21:00まで)
4 木	夜間開館(特別展は18:00まで、総合文化展は21:00まで) 11:00
5 金	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 15:00
6 土	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 11:00 14:00 ★ 11:00、13:00、15:00
7 日	夜間開館(特別展は18:00まで、総合文化展は21:00まで) 14:30
8 月	休館日
9 火	G「中国石窟の仏像」14:00 東洋館ミュージアムシアター
10 水	
11 木	11:00
12 金	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 14:00
13 土	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 【茶の湯】 「茶の湯の魅力―日本、朝鮮、中国のやきものを中心に」13:30 平成館大講堂
14 日	時間延長(18:00まで) 国際博物館の日記念ツアー「上野の山でキジめぐり」9:00*2 13:00
15 月	休館日
16 火	G「幕府祈願所霊雲寺と開基浄厳」14:00 本館特別2室
17 水	
18 木	国際博物館の日 総合文化展無料観覧日 国際博物館の日記念ガイド「トーハクへようこそ」11:00、14:00 本館地下教育普及スペース 15:00 ★ 11:00、13:00、15:00
19 金	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 11:00
20 土	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 11:00 14:00 15:00
21 日	時間延長(18:00まで) 11:00 11:00 11:00、13:00 14:00 14:30
22 月	休館日
23 火	G「舞楽面・行道面と仮面芸能の魅力」14:00 本館14室
24 水	
25 木	14:00
26 金	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで)
27 土	夜間開館(特別展は20:00まで、総合文化展は21:00まで) 「トーハクでバードウォッチング―キジやクジャク、鳳凰が勢ぞろい―」13:30 平成館大講堂 13:30
28 日	時間延長(18:00まで) 13:00 15:00
29 月	休館日
30 火	G「展覧会情報の調べ方について」14:00 本館地下教育普及スペース
31 水	(6/4まで)

＝月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展関連事業については、当該ページ)

＝ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ

＝託児サービス実施日(12:30～15:30) 事前予約制 有料

＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス

＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス

＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス

＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館1階エントランス

＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口

＝ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館1階エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、参加費500円、先着15名)

＝ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、先着18名)

＝ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス

＝ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス

＝ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館1階エントランス

＝ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館1階エントランス

＝ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス(4・5月は「仏像の旅」をご案内します)

＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館エントランス

※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。